

あなたはいくつ守れていますか？「ごみ出しのルール」チェック ☒ してみましょう！

ごみの出し方

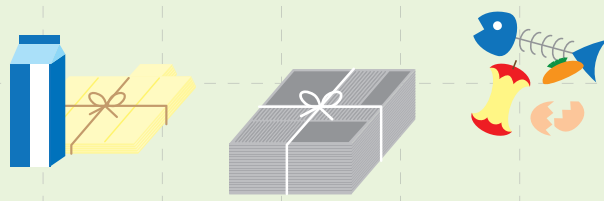
- ☐ 収集日をごみカレンダーで確認する。
- ☐ 午前8時までごみステーションに出す。
- ☐ 市指定のごみ袋を使用する。
- ☐ ビン・缶・ペットボトルは軽くすいであらしてから捨てる。
- ☐ 古紙は種類ごとに「紙ひも」でしばって出す。
- ☐ 缶は市指定リサイクルボックスで出す。
- ☐ ビンは無色、茶色、その他の色に分けて出す。
- ☐ 乾電池・蛍光灯・水銀体温計・電球は月1回指定日に出す。
- ☐ モバイルバッテリー等のリチウム電池は環境プラザへ直接持ち込む。(有料)

乾電池やモバイルバッテリーなどの混入は、**施設の損傷や火災発生**の原因に!!
絶対にやめてください。



ごみの分別

- ☐ 可燃物と不燃物を分けて捨てる。
- ☐ 電子機器の電池は取り除く。
- ☐ スーパー等の店頭回収を利用する。
- ☐ 古紙からビニールや布を取り除く。
- ☐ ペットボトルはラベル、キャップを外す。
- ☐ スプレー缶やカセットボンベはガスを使い切って穴をあけて出す。
- ☐ 生ごみは水分をよく切って出す。

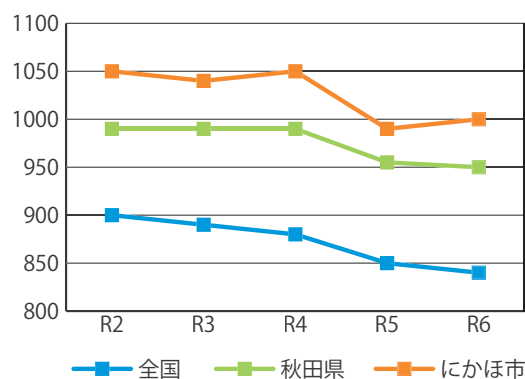


にかほ市のごみの現状

にかほ市の1人1日あたりのごみ排出量は、全国平均・秋田県平均より多く、ごみの減量化に遅れが出ています。今後も更なる減量化を推進する必要があります。

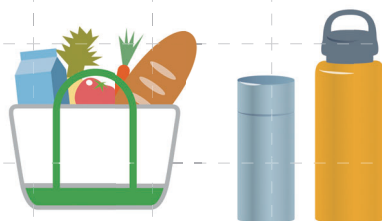
市では、廃棄物の減量および再生利用の促進等に関する事項を審議するため、「にかほ市廃棄物減量等推進審議会」を設置し、今後ともごみ減量に有効な施策、ごみ袋の改善についても審議し検討していきます。

1人1日あたりのごみ総排出量(単位:グラム)



減量化・資源化への取組(個人・各家庭編)

- 買った食材を使い切ることや、食べ残しを減らす食生活を目指します。
- 食材の二重買いをしないよう、冷蔵庫の中身を確認してから買い物に行きます。
- 使い捨て商品や過剰包装のものを買わないようにします。
- マイボトル、マイバック、詰め替え商品を利用し容器包装の削減を図ります。
- 長く使えるものを買ひ、リユースや修理して使うなど、ものを大切にします。



<お願い>

- ごみを出す際は、分別とルールを守ってください。分別は、「ごみ」を「資源」に変える大切なひと手間です。リサイクル率を向上させ、美しい自然環境を次の世代に引き継ぎましょう。
- 一部店舗でもえるごみ袋に品切れが発生していますが、今後、十分な量が流通しますので、必要以上のまとめ買いは絶対にやめてください。

★市HPに50音別ごみ分別一覧表やざつ紙リサイクル分類表を掲載しています。
二次元コードよりご確認ください。



にかほ市のごみ処理について

問 環境プラザ ☎38-3910

今号では、にかほ市のごみ処理について詳しく紹介します。にかほ市のごみについて詳しく知り、ごみを減らすために何ができるのか身近なところから考えてみませんか？

ごみ処理の仕組みとリサイクル



リサイクル(不燃ごみ・資源ごみ・持込ごみ)

回収したごみのうち、分別された不燃ごみ・資源ごみ・持込ごみは次のようにリサイクルされます。

分別の種類		リサイクル後の製品	
不燃ごみ 資源ごみ 持込ごみ	ガラス陶磁器	→	路盤材
	ペットボトル	→	衣類やプラスチック製品
	缶	→	缶
	鉄くず	→	鉄骨などの鉄製品
	銅	→	電線や銅管
	小型家電	→	レアメタル
	古紙	→	トイレットペーパー等紙製品

- 発砲スチロール
 - 羽ぶとん
 - PETボトルキャップ
 - アルミニウム類
 - 鉛類
 - ノートPC、スマホ等
- もリサイクル品として仕分けしています。

持込ごみの受け入れ

環境プラザではご家庭にある可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ(タンス・食器棚・健康器具・布団・座布団、掃除機)、皿や陶磁器類等の持込ごみを下記のとおり受け入れています。平日搬入できない方も利用できるよう、毎月第二日曜日にも受け入れています。ぜひご利用ください。※祝日および年末年始期間は持込できません。

施設名	受入ごみ	料金（100kgまで）	受入日	受入時間
にかほ市 環境プラザ	燃えるごみ・古紙類	410円	毎週月・水・金曜日 毎月第2日曜日	午前9時から 午後4時まで
	粗大ごみ・燃えないごみ・水銀系ごみ	510円		
	発泡スチロール	830円	毎週火曜日	
	カン類・ビン類・ペットボトル	510円		